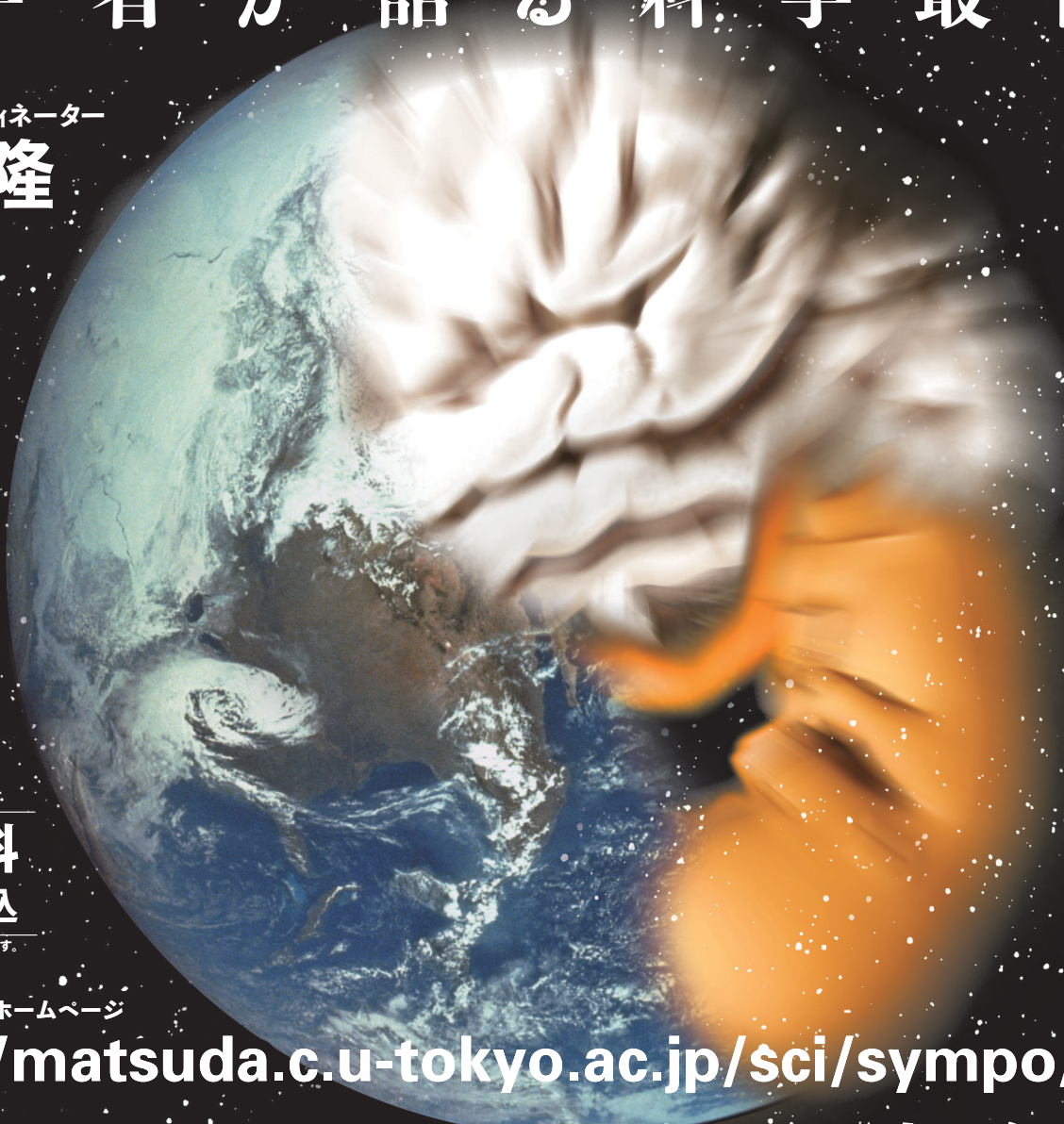


# 見えてきた! 宇宙の謎。生命の謎。脳の謎。

## 科学者が語る科学最前線

プログラムコーディネーター  
**立花 隆**



**参加無料**  
**要・事前申込**

申込はホームページのみとなります。

シンポジウム専用ホームページ

<http://matsuda.c.u-tokyo.ac.jp/sci/sympo/>

携帯電話からのお申し込みはこちら:

<http://www.kuba.co.jp/science/i/>

### サンケイホール

東京都千代田区大手町1-7-2 \*大手町サンケイプラザ4F

2006年**3月21日**〔祝〕

10:00 ~ 18:45 (予定)

- 1-挨拶「自然科学研究機構とは何か」  
自然科学研究機構 志村令郎機構長
- 2-本日のシンポジウムのコンセプトと概略説明  
プログラムコーディネーター 立花隆
- 3-「見えてきた! 宇宙の謎、宇宙生命の謎」  
国立天文台 海部宣男天文台長
- 4-「見えてきた! 生命の謎  
生物はどこからきてどこに行くのか」  
基礎生物学研究所 長谷部光泰教授
- 5-もう一つの宇宙=脳の神秘が見えてきた  
「脳は不思議がいっぱい」  
生理学研究所 柿本隆介教授  
「フェムト秒レーザーがとらえる脳の秘密」  
生理学研究所 東京大学 河西春郎教授

- 6-パネル  
「21世紀はイメージング・サイエンスの時代」  
総論「科学は見る時代から見えないものを観る時代へ」  
司会 岡崎統合バイオサイエンスセンター 永山國昭教授  
「蛍光ラベル法で見た生物の発生過程」  
基礎生物学研究所 田中実助教授  
「ナノの世界まで光で見えてしまう近接場光学」  
分子科学研究所 岡本裕巳教授  
「位相差電子顕微鏡ではじめて見えた生きた細胞のナノ世界」  
生理学研究所 永山國昭教授  
「ホケもゆらぎもキャンセルしてしまう補償光学」  
国立天文台 冢正則教授  
「マイクロ派CTが解明した核融合プラズマの謎」  
核融合科学研究所 長山好夫教授
- 7-総括と予告  
立花隆

パネル・機器展示も行います。

※プログラムは一部変更となる可能性があります。

# NINS

National Institutes of Natural Sciences